

7. 障害者支援（学部・大学院共通）

1. 障害学生修学支援を目的とした講義科目（2021年度）

| No. | 科目名 | 対象学部 | 学 期 | 履修者数 | 内 訳 | 備 考 |
|-----|--------------|------------|-----|------|--------------------|-----|
| 1 | 福祉ビジネス論 | 人間社会学部 | 前期 | 40 | 人間社会学部:40名 | |
| 2 | ボランティアの研究(1) | 工学部・人間社会学部 | 前期 | 47 | 工学部:27名・人間社会学部:20名 | |
| 3 | ボランティアの研究(2) | 工学部・人間社会学部 | 後期 | 32 | 工学部:32名・人間社会学部:0名 | |
| 4 | ボランティアの研究(3) | 工学部・人間社会学部 | 後期 | 90 | 工学部:68名・人間社会学部:22名 | |

2. ノートテイクの実施状況（2021年度）

| 内 容 | 有 無 | 人 数 | 詳 細 | 備 考 |
|------------------|-----|-----|-----|-----|
| ノートテイクカー募集説明会の実施 | 無 | 0 | | |
| ノートテイク養成講座の実施 | 無 | 0 | | |
| ノートテイク支援者 | 無 | 0 | | |
| ボランティア登録者数 | 無 | 0 | | |

3. 入学者選抜における配慮について

(1) 事前に障害の内容を確認し、その状況に応じできる限りの配慮を行っている。

また、学生募集要項にも事前相談を周知し、個別対応としている。

4. 発達障害等の学生に対し、教育上の配慮の実施について

(1) 保護者との面談をへて配慮願いに従って、学部学科長が各学科教員と連携して、対応を行っている。

(2) 担任と副担任が連携して日々の生活を見守っている。

(3) 学生の状況に応じ、「学生課」と「学生相談室」が連携し対応している。